

第 98 回 地域まちづくり推進委員会ヨコハマ市民まち普請事業部会 会議録

日時	令和 5 年 1 月 29 日 (日) 10:00~17:15
開催場所	横浜市役所アトリウム
出席者 【敬称略】	部会委員) 杉崎、朝比奈、飯尾、植松、加藤、川原、後藤、松村 事務局) 横浜市：榊原、萩原、村田、秋浦、石田、古谷 市民セクターよこはま：加世田、鈴木 横浜市住宅供給公社：岡部、都出、田口、佐藤、土屋、高橋
開催形態	公開 会場での観覧及び YouTube での LIVE 配信
議題	令和 4 年度ヨコハマ市民まち普請事業 2 次コンテスト 1 開会 2 整備提案の発表 3 審査員による情報収集タイムに向けたポイント整理 4 情報収集タイム 5 審査方法の説明 6 公開議論、質疑 7 公開投票及び結果発表 8 審査員からのグループへのコメント 9 全体講評
決定事項	6 件の提案のうち、以下の 3 件の提案を整備助成対象提案として選考 【整備提案名】<提案グループ名> 1 【鳥山ノスタルジア計画・町への愛着生む居場所を作る】 <町を故郷に・鳥山ノスタルジアプロジェクト> (港北区) 2 【「食」をきっかけとしたシェア空間の立ち上げ】 <まちまど・洋光台シェアベース実行委員会> (磯子区) 3 【松見町みんなの実家「てんこもりのわ」プロジェクト】 <てんこもりのわ> (神奈川区)
審査基準	<b>1 創意工夫</b> ・住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデア、ユニークさ及びデザインへの配慮 ・整備工事における地域での費用や労力の負担方法などの工夫 ・整備した施設の維持管理・運営の実施方法などの工夫 <b>2 実現性</b> ・地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成 ・関係機関との調整 ・整備する施設の維持管理・運営計画 <b>3 公共性</b> ・地域の課題やニーズの的確な把握、地域への貢献度 <b>4 費用対効果</b>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備の規模（数量）と整備による効果の妥当性</li> <li>・コスト削減の工夫</li> </ul> <p><b>5 地域まちづくりへの発展性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備をきっかけに地域のコミュニティが広がる、又は深まる可能性</li> <li>・整備をきっかけに地域のまちづくり活動が活発化する可能性</li> <li>・他の地域によい影響を与える可能性</li> </ul>
選考結果	
選考団体（投票数順）	委員講評
<p><b>【提案名】</b> 鳥山ノスタルジア計画・町への愛着生む居場所を作る</p> <p><b>【提案グループ名】</b> 町を故郷に・鳥山ノスタルジアプロジェクト</p> <p><b>【投票数】</b> 15 票</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動のロジックがとても分かりやすく、それを整備場所に落とし込んでいることもよく理解できた。</li> <li>・リーダーの実行力がよく分かった。既に関係性はでき上がっているかもしれないが、リーダーが仲間に弱みを打ち明けられるような関係がまちづくりにも重要なので、今後も良い関係を作っていって欲しい。</li> <li>・一つの将来像がよく明確になっていた。ある人にとっては受け入れやすく、ある人にとっては受け入れがたいものが当然あるかもしれないが、地域の中にある居場所を繋げることで地域全体としてすべての人を受け入るような形・像が示されていた。</li> <li>・小さい場所だとできることは限られてしまうが、そこを良さとして活動することが、とても新しいと感じた。これからのまち普請の新たな可能性を秘めた活動として応援している。</li> </ul>
<p><b>【提案名】</b> 「食」をきっかけとしたシェア空間の立ち上げ</p> <p><b>【提案グループ名】</b> まちまど・洋光台シェアベース実行委員会</p> <p><b>【投票数】</b> 15 票</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洋光台は市内屈指の大きな団地であり、まわりに戸建て住宅や科学館などもあるが、地域は高齢化を迎えている中で、高齢者の快適な過ごし方を若い人が新たに提案していくというそのつながりをうまく循環させようとしているところに大いに期待が持てる。</li> <li>・グループのメンバーだけでなく、グループの周りの人たちも光らせるような活動だと思った。一つ前の世代や年配の方々の知恵などをしっかり受け止めて、それらを言葉やプログラムに変えて、つなげていこうというところが見えてきた点に大変期待している。</li> <li>・メンバーが持つ気持ちや活動を維持することも大事で、それに沿うために利用を希望する方を断ることもあるかもしれない。そのような中で、やり方や方針を変えなければならない場面があったときには、恐れずに変化して行って欲しい。</li> <li>・自分たちに足りていないことを自覚し、届いていない部分へのアプローチの仕方を考えている部分が評価できる。</li> </ul>

<p><b>【提案名】</b> 松見町みんなの実家「てんこもりのわ」プロジェクト</p> <p><b>【提案グループ名】</b> てんこもりのわ</p> <p><b>【投票数】</b> 14 票</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなでつくるぞ」という関係性の発展が目に見えて分かった。活動の発展性が見込めて、周りの方々を明るくさせると思う。</li> <li>・ 1次審査から2次審査までの飛躍が素晴らしい。</li> <li>・ 熱意や創意工夫が感じられた。男性を巻き込んでいる点も素晴らしい、地域まちづくりへの発展性が期待できる。</li> <li>・ すでに色々な活動ができている中で、まち普請によってどのように発展するかを見ていたが、活動を無理にステップアップするのではなく、今までの活動を実直に、身の丈に合ったかたちで続けようとしていて、その誠実性から今後の活動に期待が持てる。</li> <li>・ グループ全員が同じ意識で取り組んでいると思う。メンバーの以心伝心がこれまでの活動の賜物だと感じた。</li> <li>・ 1件1件訪問してニーズを聴く等の正直さが地域を耕すと感じた。</li> </ul>
<p><b>資料</b></p> <p>(資料1) 令和4年度ヨコハマ市民まち普請事業2次コンテスト整備提案集</p>	